

平成30年11月7日（水）、北海道苫小牧東高等学校を会場に、数学科の授業実践講座（進学指導講座）を開催しました。会場のある胆振管内を中心に全道から14名の先生が参加しました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、今後の各学校における授業改善の参考として活用してください。

進学指導講座の概要

テーマ「大学進学希望者の思考力・判断力 ・表現力を高める教科指導の在り方」

ワークショップⅠでは、2名の進学指導スペシャリストの先生から、大学進学希望者の指導や授業の工夫・改善の取組などについての実践を御紹介いただき、参加者は思考力・判断力・表現力を高める教科指導の在り方について理解を深めました。

ワークショップⅡでは、グループ協議を行い、数学的な見方・考え方を育成する流れなどについて考察しました。

本講座の概要

【ワークショップⅠ】

北海道札幌東高等学校

横山 隆之 教諭

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた実践について」

<キーワード>

「予習」→授業→「復習」の黄金サイクル、
思考力を育成する問題

北海道帯広柏葉高等学校

加藤 秀和 教諭

「教育課程研究指定校事業での実践について」

<キーワード>

ルーブリック評価、単元シラバス、
課題学習型授業

【ワークショップⅡ】

「数学Ⅰにおける数学的な見方・考え方を育成する流れ」

本講座の実施により期待される成果

- 課題解決に向けた「主体的・対話的で深い学び」の実現
- 実践的な「教科指導力」の向上
- 北海道高等学校学力向上実践事業における研究の充実

進学指導講座の実施状況

【ワークショップⅠ】



【横山先生の発表の様子】

札幌東高校の横山先生からは、進学校における主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善について発表がありました。

全ての授業でグループ学習を導入し、「数学的な見方・考え方」の習得に重点を置き、定理の証明や思考力を必要とするような問題について議論させると説明されました。

生徒からは「グループで取り組むことで質問しやすく疑問を解決しやすい」との感想が出されていると紹介されました。

帯広柏葉高校の加藤先生からは、昨年度まで指定校だった教育課程研究指定校事業での実践について発表がありました。

主体的・対話的で深い学びの実現のために、粘り強く考える力の育成、思考力・判断力の育成、表現する力の育成が必要となり、評価のためにルーブリックを作成したと説明されました。

生徒からは「グループで行うことで理解が深まり、他の問題との関連性も意識できた」との感想があったと紹介されました。



【加藤先生の発表の様子】



【ワークショップⅡ】

札幌東高校の横山先生がファシリテーターとして、「数学的な見方・考え方を育成するための課題設定の流れ」を構成する演習を実施しました。課題を通して育成を目指す資質・能力を生徒が確実に身に付けるための工夫等について協議し、「生徒に気付きを与える課題設定がよい」等の意見が出されました。

進学指導講座参加者の声

【参加者の声】

- 記述力を身に付けるためには、諦めずに考え抜く力が大切だと分かりました。数学的な見方・考え方を重視した授業も実践したいと思います。
- 普段では気付くことのない視点により、授業改善について改めて考えることができました。
- 生徒に何を身に付けさせたいかを明確にする授業を実践するとともに、観点別評価の改善も進めていきたいです。
- 授業での生徒による問題作成を通して、深い学びにつながる実践をしていきたいと思えます。

【参加者アンケートの結果（一部）】

- 1 紹介した教材や指導方法は活用できますか。
 - ・大いに活用できる **28.6%**
 - ・活用できる **71.4%**
- 2 「主体的・対話的で深い学び」の実現や教材、指導方法の理解は深まりましたか。
 - ・大いに深まった **21.4%**
 - ・深まった **71.4%**
- 3 本講座は授業実践力の向上に役立ちましたか。
 - ・大いに役立った **35.7%**
 - ・役立った **57.1%**

今回のこの報告は、次のウェブページに掲載しております。

<胆振教育局ウェブページURL>

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ibk/koukou.htm>